

令和3年9月15日

(あて先) 千葉市議会議長

議席番号 1番 氏名 桜井秀夫

質 問 主 意 書

千葉市議会会議規則第61条の2第2項の規定により、質問主意書を提出します。

【質問項目・内容】(3項目6問以内)

1 無電柱化の推進について

- (1) 国の新たな無電柱化推進計画に基づき、市は開発事業者等に対して事前に無電柱化の検討を周知するとともに、その検討結果を地域住民に対して説明を行うこととするなど、新設電柱の抑制を図るべきと考えるが、本市の見解について
- (2) 浅層埋設を可能にする規制緩和や埋設助成制度の創設により、事業者や住民など要請者負担による単独地中化を推進・支援し、災害対策はもとより、まちづくりにおける無電柱化の推進・普及を図るべきと考えるが、本市の見解と取組みについて

2 戦跡および文化財の保存・活用について

- (1) 稲毛区作草部にあった旧気球聯隊第二格納庫の部材の保存・展示の場所や方法について、現在の本市の考え、その進捗状況について
- (2) 歴史的・文化的に価値のある地域財を計画的かつ総合的に保存する枠組みが必要と考えるが、本市の見解について

3 東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーについて

- (1) 市内で開催された競技については、今後も当該競技の大会誘致や感染収束後の学校観戦を行うべきと考えるが、本市の見解について
- (2) パラスイミングの普及に対する本市の見解と今後の取組みについて

【質問文】（900文字程度）

1 無電柱化の推進について

(1) 前面道路に電柱が立っていなかった稲毛区のスカイタウンふれあいの街に住む住民が、電気事業者から事前の周知がなく近隣地域の共同住宅建築に伴い電柱が新設されたことについて抗議するとともに、市を交えて電気事業者と周辺地域の無電柱化について協議している。電柱新設の原則禁止の徹底を盛り込んだ国の新たな無電柱化推進計画で示されているように、本市においても、開発事業者等に対して事前に無電柱化の検討を周知するとともに、その検討結果について地域住民に説明を行うこととするなど、新設電柱の抑制を図るための取り組みをすべきと考えるが、本市の見解について伺う。

(2) 千葉市が行っている電線共同溝方式では、コストが高すぎるため、無電柱化の進展は極めて遅いのが現状である。したがって、浅層埋設を可能にする規制緩和や埋設助成制度の創設により、事業者や住民など要請者負担による単独地中化を推進・支援し、災害対策はもとより、まちづくりにおける無電柱化の推進・普及を図るべきと考えるが、本市の見解と取り組みについて伺う。

2 戦跡および文化財の保存・活用について

(1) 稲毛区作草部にあった旧気球聯隊第二格納庫の部材の保存・展示については、令和2年第4回定例会で、具体的な方法を検討する旨の答弁がなされ、千葉公園での保存・展示を要望したが、その場所や方法について、現在の本市の考え、その進捗状況について伺う。

(2) 稲毛区弥生町の東京大学西千葉キャンパス跡地利用に際して、現存する旧東京帝国大学第二工学部木造校舎の解体を含む整備計画が大学から発表されており、先の旧気球聯隊第二格納庫の解体及び部材保存の経験も併せて踏まえると、今後は、歴史的・文化的に価値のある地域財を計画的かつ総合的に保存する枠組みが必要と考えるが、本市の見解について伺う。

3 東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーについて

(1) 市内で開催された競技については、今後も当該競技の大会誘致や感染収束後の学校観戦を行うべきと考えるが、本市の見解について伺う。

(2) パラスポーツ振興補助金を活用したパラスイミング教室を今夏に視察し、本教室の重要性を確認した。今後は実施拠点を増やすなど教室を拡充すべきと考えるが、パラスイミングの普及に対する本市の見解と今後の取り組みについて伺う。